

イベント案内



昔ばなし

ベテラン語り部による昔ばなしでほっこりしましょう♪



昔ばなし

- 日時 / 平成27年3月8日(日) 午後1時30分～午後3時
- 参加費 / 無料
- 申込み / 平成27年2月8日(日)午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付
- 定員 / 100名(先着順)

歴史講演会

「大安場古墳が造られた時代～古墳時代前期の東北地方と畿内～」

大安場古墳が造られた時代について、近畿地方の事例と共に考えます。



石野 博信氏

- 日時 / 平成27年3月15日(日) 午後1時30分～午後3時
- 参加費 / 無料
- 講師 / 石野 博信氏(兵庫県立考古博物館館長)
- 申込み / 平成27年2月15日(日)午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付
- 定員 / 100名(先着順)
- 対象 / 中学生以上

大安場史跡公園

指定管理者:公益財団法人郡山市文化・学び振興公社

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
 電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090
 Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp
 休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の休みでない日)
 ※公園は年中無休です。

ウェブサイトもチェック!

大安場史跡公園 検索



おおよしせきこうえん
大安場史跡公園

まる さんかく しかく

vol.
22

タイトルはまるい石鯛、さんかくは古墳の前方部しかくは後方を表現しています。



大安場は
イベントいっぱい!
遊びにおいでヨ!!



第2回 歴史講座

「縄文時代の食糧事情」

大安場史跡公園
平成26年度
歴史講座

「縄文時代の食糧事情」

2月8日(日)
午後1時30分～3時

場 所: 大安場史跡公園ガイダンス施設
 内 容: 郡山市内の遺跡などから分かった縄文時代の食糧事情を解説します
 講 師: 大安場史跡公園職員
 対 象: 中学生以上
 定 員: 50名(先着順)
 参加費: 無料
 申込開始: 1月8日(木)午前9時から
 電話またはガイダンス施設にて受付
 ※申込開始当日は電話回線が混みあうことがあります
 あらかじめご了承ください

- 日時 / 平成27年2月8日(日) 午後1時30分～午後3時
- 参加料 / 無料
- 申込み / 平成27年1月8日(木) 午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付
- 定員 / 50名(先着順)

郡山市内の発掘事例
などからわかった縄文
時代の食糧事情につい
て解説します。



歴史講座の様子

〒963-1161
 福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地
 TEL: 024-965-1088 FAX: 024-965-1090

主 催 郡山市 / 郡山市教育委員会
 大安場史跡公園 (公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)



十二支の考古学 ~未の歴史~

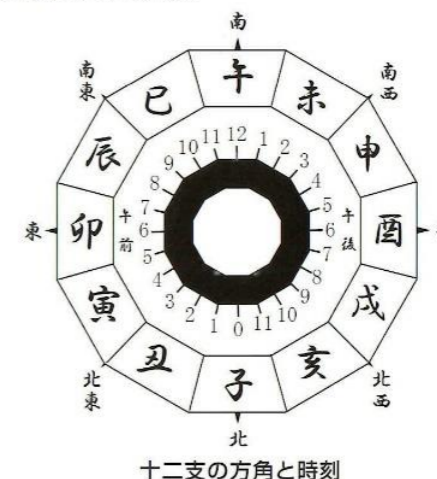
平成27年の今年は**未年**。子から始まる十二支の8番目の年を迎えました。

ヒツジは穏やかで温かく、まじめ、そして群れで行動することから、家族の**安泰**や**平和**をもたらす縁起のよい動物とされています。十二支を考案した古代中国の人々も好ましく思っていたようで、善、義、祥、翔など**羊**がつく漢字により意味を持たせています。

中国では2月19日に**春節**(お正月)を迎えます。香港ではこの時期に干支の像を立てる習わしがあり、街角に**ヒツジ**(羊)と並んで**ヤギ**(山羊)や**カモシカ**(羚羊)を飾り、新年を祝います。角を持ち、蹄が割れているヒツジの仲間全体で**未**となるわけです。

十二支(子・丑~未~戌・亥)と十干(甲・乙~壬・癸)とを組み合わせた曆も、中国から伝来したものです。埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣銘から、少なくとも古

墳時代中期の5世紀後半には使用されていたことがわかっています。また十二支は、方角や時間もあらわしています。**未の方角**は真南から西に30度振れたところ。**未の刻**はおおよそ午後1時から3時のあいだの2時間をいいます。



羊の折り紙

1 日本の未

羊や山羊は外来種で、弥生時代の日本を記録した『魏志倭人伝』にも「牛馬虎豹羊鵲はいない」とあります。

日本最初の羊は、『日本書紀』推古天皇七年(599)の条に「百濟より駱駝一匹、驢馬一匹、**羊二頭**、白色の雉一隻を買れり」として登場します。また嵯峨天皇弘仁十一年(820)の条にも「新羅人季長行等、**黒羊二、白羊四、山羊一、鷲二**を進む」とあり、当時は珍獣であった様子を伝えています。

一方、**ニホンカモシカ**は、一万年以上前の旧石器時代から捕獲され、毛皮は衣類などに利用されてきました。肉はたいそう美味しいと伝わっていますが、1955年からは特別天然記念物に指定されているため、その真相を知る人は少ないようです。



ニホンカモシカ (撮影場所/三穂田町)

2 最古の未

和歌山県の神社に**未**と書かれた鏡が伝わっています。48字ある銘文の解釈には諸説ありますが、**斯麻**を百済の**武寧王**(在位:502~523年)にあて、**男弟王**を継体天皇(在位:507~531年)、**癸未年**を古墳時代後期の503年とする説が有力です。



人物画像鏡 (径18.9cm 須田八幡神社所有)

「癸未の年八月日十大王の年、男弟王が意柴沙加(忍坂宮)の宮にいた時、斯麻が男弟王の長寿を念じて、開中費直、穢人(漢人)今洲利の二人を遣わして、白上同(新しい)上質の銅二百斤をもってこの鏡を作る」

3 最古の羊

羊に関係する古代の遺物は非常に少なく、西日本にある奈良時代の役所跡から出土している5点の硯=**羊形硯**しかありません。

下の絵は、奈良県平城京の出土品をスケッチしたものです。『古事記』の編纂者として有名な太安万侶の愛用品の可能性もある逸品ですが、羊形硯の名に異論もだされています。

「水を使う硯に乾燥地帯を好む羊はミスマッチ。唐の時代、雷雨時に天から降ってくると信じられていた羊に似た妖怪雨工の方が相性がよい」との理由で、**雨工形硯**の名が提案されています。



羊形硯 (高さ:推定15cm 奈良国立文化財研究所蔵)

4 郡山市の羊

郡山市でも羊の記録は少なく、田村町大供字本地の地蔵堂境内に建つ**羊魂碑**しか見つけることができませんでした。

昭和十二年に守山町緬羊組合が、羊を供養するために建立したものです。



羊魂碑 (高さ122cm 凝灰岩製)